



師走の光 きらめく

再生可能エネ
関心を高めて

国分

霧島市国分の市民会館前に3日、太陽光発電を使った「エコイルミネーション」がお目見えした。省電力の発光ダイオード(LED)電球とペットボトルで作った雪だるまや、高さ約2層のハート形オブジェ、約4層のタワーなど12作品が会場を彩る。25日まで。

会場を明るく彩るエコな作品 〓霧島市国分

再生可能エネルギーへの関心を高めてもらうと、霧島商工会議所青年部が主催。6回目の今年は、市内の福山高校や隼人工業高、鹿児島工業高等専門学校、企業など12組が「未来へ LOVE」をテーマに作った。ペットボトル収集には小中高22校が協力した。

3日夜、点灯式があり、大勢の見学者が集った。国分小学校2年の山田心美さんは「キラキラしてとてもきれい」と喜んでいた。

(藤崎慎一)